

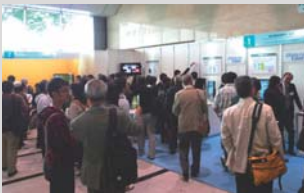
技研公開2010より

～技研80年 さらなる未来へ～



NHK放送技術研究所では、5月27日(木)から30日(日)までの4日間、技研の最新の研究成果を公開展示するイベント「技研公開2010」を開催しました。今年は、技研研究所80周年記念として「技研80年 さらなる未来へ」をテーマに、最新の研究成果44項目を展示しました。開催期間中、22,087人の方が来場されました。進化したスーパーハイビジョンや、放送通信連携サービス技術など、技研が取り組んでいるさまざまな研究内容を多くの方にご覧いただきました。

放送と通信の連携サービス



放送と通信それぞれの特徴を生かし、放送に関する情報やサービスを連携させる新しいサービス技術Hybridcastを紹介しました。また、放送と通信の連携サービスを安心してご利用いただくための技術を紹介しました。

スーパーハイビジョン



高臨場感あふれるスーパーハイビジョンの実現を目指した最新の研究成果を紹介しました。今年は、3,300万画素3板式のフル解像度スーパーハイビジョンカメラを初展示したほか、スーパーハイビジョンの映像圧縮技術、伝送技術などを紹介しました。

インテグラル立体テレビ



特殊な眼鏡を使わずに、自然な立体映像を見ることができる究極の立体テレビ、インテグラル立体テレビの最新の研究成果を紹介しました。今年は、立体映像の画質改善を行いました。

地上デジタル放送



2011年の完全デジタル化に向けた地上デジタル放送の技術と、完全デジタル化後の新しいデジタル放送技術を紹介しました。今年は、小型で低コストな干渉除去装置や、超多値OFDMと偏波MIMOを用いた大容量伝送技術などを紹介しました。

人にやさしい放送



高齢者や視覚障害者などを含む、すべての方々に放送サービスを楽しんでいただくための技術を紹介しました。今年は、視覚障害者のための触力覚提示技術や、日本語から手話CGへの翻訳技術などを紹介しました。

高度な番組制作技術



より高度な番組制作環境を提供するための最新の番組制作技術を紹介しました。今年は、遮へい物に隠れた被写体を撮影する電波テレビカメラや、ドラマ「坂の上の雲」で利用されたVFX技術などを紹介しました。

次世代の放送デバイス



将来の新しい放送サービスを実現するための最新の放送デバイス技術を紹介しました。今年は、高精細化したフレキシブルディスプレイ、カラー化した有機撮像デバイス、高密度ホログラム記録技術などを紹介しました。